

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE 京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |            |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称     | 府営住宅桃山日向団地2号棟        | 階数     | 地上5F       |
| 建設地      | 京都府京都市伏見区桃山町日向地      | 構造     | RC造        |
| 用途地域     | 第一種中高層住居専用地域         | 平均居住人員 | 105 人      |
| 気候区分     | 地域区分IV               | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2014年9月 予定           | 評価の実施日 | 2013年6月1日  |
| 敷地面積     | 2,779 m <sup>2</sup> | 作成者    | 馬場正哲       |
| 建築面積     | 780 m <sup>2</sup>   | 確認日    |            |
| 延床面積     | 2,927 m <sup>2</sup> | 確認者    |            |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境負荷 L (0-100) vs 環境品質 Q (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100% 超 ☆

標準計算

① 参照値: 100%  
② 建築物の取組み: 73%  
③ 上記+②以外の: 73%  
④ 上記+: 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境: 2.7, 光熱環境: 3.0, 空気質環境: 2.9, 総合: 4.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

機能性: 1.6, 耐用性: 3.2, 対応性: 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.6

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物の: 3.0, 自然エネ: 3.5, 設備システ: 3.1, 効率的: N.

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.7, 汚染物質: 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化: 4.0, 地域環境: 2.0, 周辺環境: 3.0

| 3 設計上の配慮事項  |  |   |
|---|--|---|
| 総合  |  | その他   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>既存府営住宅の老朽化に伴う建て替え計画であり、山麓型修景地区であることをふまえ、景観的な配慮を行っている。</li> </ul> |  | 0   |
| Q1 室内環境   | Q2 サービス性能  | Q3 室外環境(敷地内)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>内装材は、接着剤等について、化学物質が発散しない材料を使用している。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅表示基準「3-1.劣化対策等級(構造躯体等)」等級3相当。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存緑地を極力残すと共に、透水性を備えた外構仕上材を使用している。</li> </ul> |
| LR1 エネルギー   | LR2 資源・マテリアル   | LR3 敷地外環境   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根面に太陽光パネルを設置している。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>節水コマの採用。</li> <li>住戸内装下地材に京都市内産材を利用している。</li> </ul> |   |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい